




一応供覧	文書分類		保存年	13510永
議長	局長	書記	主任	担当
				

令和7年2月10日

津南町議会議長 恩田 稔 様

議席番号 5 番

議会議員 久保田等



一般質問の通告について

令和7年2月27日開会の第1回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1) ふるさと納税増対策について (企業版含む)	<p>令和6年度ふるさと納税の目標額は前年度比2倍の6億円を掲げ取り組みをされてきました。</p> <p>11月末時点では目標の半分どころか前年度よりも600万円ほど少なく1億7,670万円でした。</p> <p>しかし12月のふるさと納税のかき入れ時には昨年の夏の米不足を回避しようとお米を年間契約で確保しておこうという動きが全国で起こりました。</p> <p>お陰で津南町は12月の寄付金額だけで前年度比215%の1億8,475万円となり今年度4億円が確実に来りました。</p> <p>この事で下記点について伺います。</p> <p>①前年度比133%UPという事ですが、目標の6億円に対してはほど遠い結果になった訳ですが、町長としてこの結果をどう受け止めているか伺う。</p> <p>②中間事業者が4月から新たな業者に変更になる事による町のふるさと納税に対する</p>	町長



	<p>意識の変化と体制強化をどう考えているか伺う。</p> <p>③今時点での考えている令和7年度のふるさと納税増対策は何か伺う。</p> <p>④令和7年度のふるさと納税増額に対しての意気込みと目標金額を伺う。</p> <p>⑤令和6年度の企業版ふるさと納税の結果をどうとらえているか。又その結果を踏まえ令和7年度の企業版ふるさと納税の目標金額と施策を伺う。</p>	
<p>2) 関係人口増対策について</p>	<p>関係人口増対策として「ふるさと住民」制度の導入について伺う。</p> <p>「ふるさと住民票」は仕事や介護、災害、ふるさと納税などで住居以外の地域と関わりを持つ人たち、持ちたい人達、又出身地に愛着がある人、「田舎暮らし」など新たに「ふるさと」を作りたい人など、住んでいないけどこれからどこかの地域と関りたい方に「ふるさと住民」になって頂き、外からまちづくりに関わってもらい確実に「関係人口」を増やし地域を活性化していく取り組みです。</p> <p>「ふるさと住民票」は法律に基づく「住民票」とは異なり、自治体が創意工夫をしながら自由に制度を決める事が出来る柔軟な仕組みです。</p> <p>今現在、全国で11の都道府県で14自治体が導入をされています。</p> <p>特に津南町は急激な人口減少、少子高齢化、</p>	<p>町長</p>

子供も・若者の減少で衰退の一途を辿っています。

是非、津南町も関係人口を増やし活気ある町にしていく為に、この「ふるさと住民票」の制度を取り入れて頂きたいが考えを伺う。